

國單一無產政黨ヲ樹立セント欲シタノニ對シ日本勞働總同盟側ハ  
 飽達共產系人物絕對排除ノ方針ヲ採リ其ノ間幾多波瀾ヲ重ネタ結  
 果「今次ノ無產政黨ハ反共產派ナルコト」ヲ明示スルコトニ依ツ  
 テ妥協繼リ其ノ創立宣言書中「我勞働農民黨ハ其立黨ノ根本精神  
 第一ニ我無產階級ノ生活權ノ確立ニ置キ力ヲ竭シテ國民最大多  
 數ノ生活安定ヲ計ルト共ニ依ツテ以テ我國運ノ無窮ノ監昌ト社會  
 又化ノ無限ノ向上發達トニ貢獻セン事ヲ期スルモノデアアル 而シ  
 テ其手段トシテハ飽達公明正大ナル言論ト合法的政治ノ運用ニ依  
 ツテ邁進セントスルモノデアアル (中略) 我等ハ彼ノ徒ヲニ外  
 國ノ理論又ハ行動ヲ直譯シテ我國ノ國情ト特殊形態ヲ顧ミザルガ  
 如キ一部論者ノ矯激ナル主張ノ如キハ我等ノ絕對ニ贊成シ能ハザ  
 ルモノデアアル  
 依テ我等ハ茲ニ我黨ノ綱領政策ヲ定メテ主義主張ヲ天下ニ宣明ス  
 ルト共ニ廣ク我全無產階級ノ同志諸君ガ直ニ來リテ共ニ協同セム

コトヲ待置シテ止マザルモノデアアルト宣明シソノ成立ヲ完フシタ

(七) 無產戰線混亂離合集散時代

一、勞働農民黨分裂 (共產主義運動勃興)

勞働農民黨ハ當初共產主義者排除ノ方針ヲ以テ創立シタガソノ中途  
 ニ於テ日本勞働組合評議會員其他ノ共產主義者ハ日本農民組合近畿  
 地方聯合會提唱ノ議會解散附屬運動協議會等ヲ通ジテ勞働農民黨内  
 ニ潛入シ大正十五年九月頃ニハ益クソノ指導權ヲ掌握スルニ至ツタ  
 茲ニ於テ日本勞働總同盟等ノ右翼團體ハ到底其ノ行動ヲ共ニスルコ  
 トガ出來ナイガ爲ニ絶對ノ機會ヲ視ツテソノタガ遂ニ大正十五年十  
 月勞働農民黨第四回中央執行委員會ニ於テ日本勞働總同盟、日本勞  
 働組合總聯合、東京市電自治會、司府同盟、官業勞働總同盟ノ五團  
 體ハ勞働農民黨脫退ヲ表明シタ

然ルニ脫退團體内部ニハ日本勞働總同盟最高幹部鈴木文治、松岡胸  
 吉、西尾末廣等ノ態度ハ余リニモ極右的デアアルカラ之ニ與ミスルコ